



同窓会だより

創刊号

平成20年9月23日

ごあいさつ

同窓会会長 鳥居 佳子（13 回生）

4 年前同窓会会長の任命をお受けしましたが、実は一度も同窓会に出席したことがなく、その趣旨すら解っておりませんでした。今回、役員で色々なことを整理し、検討を重ねたなかで、「同窓会に興味のない方も沢山居られるのではないかな・・・折角皆で会うのであれば意味のあるものにしたい。何をどのように伝えよう・・・」と様々な意見が出ました。そこで、今回、母校の近況を知っていただく事と、一緒に学びを共有したいと考え『会報誌の発行』『特別講演』を企画しました。住所変更されて案内が届かなかった方も沢山居りましたが、同窓生間で交流を深め、より沢山の方々に興味を持ち意見交換の出来る会でありたいと願っております。今後の同窓会の発展を祈りつつご挨拶とさせていただきます。



京都桂病院附属看護専門学校ならびに京都桂看護専門学校同窓生の皆さんへ

学校長 石坂 好樹

卒業生の皆さん、来る平成 20 年 9 月 23 日に 4 年に一度の同窓会が開かれます。そこで、京都桂看護専門学校の学校長としてひとことご挨拶を申し上げます。

昭和 41 年に京都桂病院附属看護専門学校として発足し、また平成 12 年に京都桂看護専門学校として生まれ変わり、現在にいたっている本校の卒業生は、開校以来、1200 人を超えています。そして、毎年 40 人が新たに卒業生に加わります。皆さんは、本校で学ばれた看護の基礎を基にして、自らの研鑽を重ね、さまざまな領域で看護師としてご活躍のこととお喜び申し上げます。

ところで、皆さんも日々実感されているように、医学が飛躍的に進歩し、また時代の要請も激しく変化しています。そのような変化に呼応して、看護学校の教育内容も漸次変化していかなければなりません。しかし、本校の教育理念に謳われているように、生命の畏敬・人格の尊重を基本精神とする豊かな人間性を陶冶し、主体的に学ぶ姿勢を養うといった教育姿勢はいささかも変わるものではありません。むしろ、ますますその点を重視した教育が必要とされていると思わざるをえないと、職員一同は考えています。そして、卒業生が本校で学んでよかったという学校であり続けるよう、職員一同研鑽を積んでいます。

さて、同窓会は、旧交を温め、現況を親しく語りあう良い機会となるでしょう。今年の同窓会も、そのような楽しいひと時を過ごせる盛況な会になることを期待しております。卒業生の皆さん、ぜひ同窓会にご出席いただき、その際に本校に対して、ご指導やご教示あるいはご鞭撻をいただければ学校として 幸甚です。

同窓会でお目に掛かれることを楽しみにしております。



同窓会誌の創刊 おめでとうございます！

副校長 濱本 純子

同窓会の皆様、こんにちは！創立 43 年目を迎えました本校から、全国各地でご活躍の皆様へ、こうしてお便りをお届けできることを大変嬉しく思っております。私は、平成 18 年 8 月より、三輪貞子前副校長のご退任後に着任させて頂いております。

現在、学校では、平成 21 年度から実施される新カリキュラムに向けて取り組んでいます。「看護実践能力の強化」と「看護の統合と実践」を柱とする今回の改正は、看護本来の持つその人固有の「生活」に焦点をおいた援助技術や、さまざまな看護実践の場で発揮できる総合実践力の強化を目指し、変動が続く保健医療福祉の中で、卒業後も自ら学び続ける力の習得も重視しています。皆様の後姿を追い掛けながら育つ後輩たちを、これからもどうぞ宜しくお願いします。

3月6日、山下名誉会長はじめ、多数の方々にご列席いただき、またご家族の方々に参加いただき厳粛に挙行いたしました。卒業生の要望で♪旅立ちの日に♪ 斉唱と感謝の気持ちを一人ひとりが述べ、手作りの温かな式となりました。



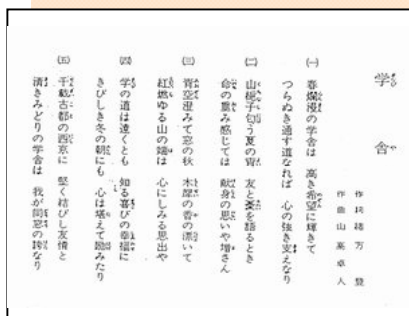
▲卒業証書授与式

2

007 年度卒業証書授与式
& 2008 年度入学式



4月3日には、入学式が挙行されました。このたびも山下名誉会長をはじめ多数のご来賓の方に参加いただき、ご家族と一緒に入学を祝福していただきました。



緒方先生作詞による「学舎（まなびや）」は、今も歌い継がれています。



ラベルワーク

ラベルワークは、自らの思いを言語

化する能力や思考する能力、また、マネジメント力を磨くことができる教育方法です。主体的で創造的な看護学生を育成する文化的土壌の形成を目指しています。

演習



各種の看護モデル教材（フィジコ®・ラング®・その他）や、実際の医療器材を多く活用し、フィジカルアセスメントや看護技術の確実な習得を目指しています。

SP参加型授業

SPとは、simulated patientの略で、より臨床に近い状況を想定することで、臨場感を感じることができます。「トータス桂」より、4名の方にご協力いただきました。



図書

2007年に、図書がコンピューター（バーコード）管理されるようになりました。もちろん、パソコンで文献検索も可能です。卒業生が、時折、図書室を訪れて課題に取り組んだり、後輩たちにエールを送ってくれています。

社会福祉法人 京都社会事業財団 京都桂看護専門学校

〒615-8256 京都市西京区山田平尾町 46-14

TEL:075-381-0971 FAX:075-382-5445

URL <http://www.katsura-nec.net> E-mail: katsura-nsc@nifty.com



同窓生からはじめて京都桂病院の 看護部長が誕生



10 回生 林 千鶴子 (旧姓：佐藤)

京都桂看護専門学校 (旧名京都桂病院付属看護学校) 卒業生の皆様、お元気でお過ごしでしょうか。

10 回生の林 (旧姓：佐藤) と申します。

私は、2005 年 8 月より、京都桂病院の看護部長の役を担うこととなりました。学生当時の、そして桂病院入職当時の私をご存じの方たちは、きっと「え？信じられない！」という状況だと思います。看護学校で最年少だった私たちは、社会経験のある先輩方にとっても可愛がっていただきました。さくら寮では過去物を見せてもらってテスト勉強をしたり、実習や国試対策を教えてもらったり・・・あれからもう 30 年。年月が過ぎる速さと立場の変化に驚いてしまいましたが、今も昔も多くの先輩や周りの方々に助けられていることを実感いたします。この 3 年間で体重は増えましたが、看護部長としてはまだまだ力不足で、ご心配をおかけすることもあるかと思ひます。今後も、私なりに頑張って役割を果たしていきたいと考えておりますので、どうぞ、皆様のお力添えをよろしくお願いいたします。



同窓会員の便り

7 回生 富永悦子 (旧姓：石原)

桂病院現役看護師 500 名が若い順番に並んだとしたら私は 485 番目、就職した時は 20 歳だったのに、今や私の後ろにはわずか 15 人しかいない！昭和の時代に就職して、西京区桂の空気をボッと吸い続けていたらいつの間にか 30 数年もの時が流れてしまいました。今は、打てば何でも自分の好きなものが出てくるという“打出の小槌”毎日、振っていますが、なかなか看護師さんは出てこない！

(とにかく一看護師大募集中ですー) プライベートでは、2 人の子供と 4 人の孫の天文学的ないたずらに翻弄されながら、毎日必死で生きています。皆さんにお逢いできる同窓会を楽しみにしています。

14 回生 有山真知子 (旧姓：新本)

現在も病棟で奮闘中です。足の指を使っても、もう「卒後何年、勤続何年」と数えられなくなりました。現場では毎日がサスペンス&サプライズ！そしてハイスピードで過ぎていきドキドキ、ハラハラで飽きません(動悸・息切れ?)。残っている同期 4 名で励ましあいながら頑張っておりますが、まあ気持ちだけ若く、そして健康で働けることに日々感謝しております。



22 回生 谷口文代 (旧姓：内浦)

私は現在、京都桂病院の循環器病棟で勤務しています。

今年の春に感染管理認定看護師の教育課程を修了し、これから感染管理活動を実践していこうとはりきっているところです。感染管理認定看護師の役割は「院内感染を防ぎ、患者を感染から守ること」と「病院にかかわるすべての人を感染から守る」ことです。まだ兼任という立場で、病棟業務と感染管理の二足の草鞋をはきながらの活動ですが、専任として活動していくためのステップと捉え、日々自己研鑽に取り組んでいます。



28 回生 芳賀千夏

卒業して早くも 13 年・・・京都桂病院と共に過ごしてきました。今は、消化器内科経験ののち、呼吸器外科病棟で頑張っています。同期の仲間は年々減り、今では 3 人となりました。3 人で声をかけながら頑張っていますが、新しい時代の流れについていくのがやっとです。そのため、新人看護師を迎えるたびに初心の気持ちに触れながら、気持の若さは保とうと努力しています。これからも色々なことを吸収して看護師として、また女性として成長しつづけていきたいと思っております。



2000 年度生 森あかね

看護学校卒業後、桂病院呼吸器内科で 5 年間勤務しました。楽しいこともうれしいことも辛いことも悔しいことも、同期と分かち合い、やっぱりこの仕

事が好きだと感じられる職場で働けたことが、自分を成長させてくれました。

現在は、青年海外協力隊での活動をめざしています。これまでの自分の経験を生かし、自分のできることを精一杯頑張っていきたいと思います。



2004年度生 小林文香

桂専門学校を卒業して、今年で看護師2年目に突入しました。2年前、必死で勉強し国家資格をもらい希望部署への入職が決まり、希望にあふれ仕事を始めました。社会人として看護師として1年間、先輩方やたくさんの患者さん、人との出会い、看護の難しさ、業務を覚えること全て必死でした。でも同じくらいやりがいを感じています。良い先輩にも恵まれ、命の誕生の場面に立会い、この仕事を選んでよかったと今心から思えます。2年目になり少しずつ周りに目を向けることができ、まだまだだと痛感させられますが、学生（後輩）が実習に来るのをみると、懐かしく感じ、やる気をもらいます。今年1年、そしてこれからも、日々成長しよい看護になげられるように働いていきたい。「患者によりそう看護を目指して……」

看護師寮新築完成

平成20年4月に地上5階建の総戸数99戸のワンルームマンションタイプの看護師専用の寮が完成しました。寮の正面玄関はオートロックで、郵便BOX宅配BOXも鍵付きとなっています。寮の山側には赤外線感知装置が付いておりセキュリティーも完備されています。



ヴォーンハイム桂です！

ちなみに、名づけ親は松原義人先生です♪



ワンルームの居室は11畳で、キッチン・バス・トイレ・バルコニーが付いています。寮費は月額3万円とのことです。

☆お知らせ☆

京都桂看護専門学校のホームページをリニューアルしました！
卒業生の方へのページもあります。ぜひアクセスしてみてください。

会員数の動向

総会員数 1236名

編集後記

このたび、「同窓会だより創刊号」を発刊することができました。

昭和41年発足以来、1236名の同窓生がいらっしゃることを思い描き、みなさまがふるさとに帰られるような懐かしさに満ちた気持ちになっていただける内容を、編集委員一同知恵を出し合って考えました。

同窓生のことばに懐かしい日々を思い出されたり、今の学校の様子に新たな希望を感じていただいたり、様々な思いを抱かれていることと存じます。

本日、残念ながら同窓会に欠席された方々にも、ぜひ今日の様子などお声かけいただき、同窓会活動にご協力賜いますよう、よろしくお願い申し上げます。

編集委員一同

発行責任者 会長 鳥居 佳子

事務局 〒615-8256

京都市西京区山田平尾町46-14

京都桂看護専門学校 教務室